農研生環第４０４号
平成１５年９月９日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報第１号について（送付）

このことについて、発生予察特殊報第１号を発表しましたので送付します。

平成１５年度病害虫発生予察特殊報第１号

平成１５年９月９日
熊本県病害虫防除所長

１　病害虫名：トルコギキョウ葉巻病（仮称）

２　発生作物：トルコギキョウ

３　病原ウイルス：トマト黄化葉巻ウイルス
（Tomato yellow leaf curl virus：ＴＹＬＣＶ）

４　発生確認の経過
平成１５年８月下旬、八代郡及び上益城郡の一部のトルコギキョウで葉が奇形となっている株が発生した。熊本県病害虫防除所による同定の結果、トルコギキョウ葉巻病（仮称）であることが判明し、本県での発生を初めて確認した。

５　病徴
発病株は節間が縮み、萎縮する。葉は葉表側に巻き、小型化する。また、葉脈が隆起し、まれに葉脈間がわずかに黄化する場合がある。

６　伝染方法
本ウイルスはトマト黄化葉巻病の病原ウイルスと同一であり、シルバーリーフコナジラミによってのみ媒介される。なお、汁液伝染、種子伝染、土壌伝染はしない。

７　ＴＹＬＣＶに自然感染が確認されている植物
ナス科：トマト、センナリホオズキ
キク科：ノゲシ、タカサブロウ、ノボロギク
エノキグサ科：エノキグサ
リンドウ科：トルコギキョウ
ケイトウ科：ホソバツルノゲイトウ
ナデシコ科：ウシハコベ

８　防除対策
（１）育苗期および本圃では施設開口部に防虫ネット（１㎜目以下）を設置し、シルバーリーフコナジラミの侵入を抑制する。また、購入苗の場合は、同様の対策を施した施設内で管理する。ただし、防虫ネット設置による気温上昇に伴い、生育障害がおこることもあるので注意する。
（２）シルバーリーフコナジラミの薬剤防除を徹底する。（注意：農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を確認する。）
（３）施設周辺及び内部の雑草は、ウイルスの伝染源、シルバーリーフコナジラミの生息・増殖場所となるので、除草する。ただし、雑草を刈り取るとシルバーリーフコナジラミがトルコギキョウに移動することがあるので、事前にトルコギキョウに薬剤散布を行った後で刈り取るようにする。
（４）黄色粘着トラップを施設内に設置し、シルバーリーフコナジラミの発生状況を把握する。
（５）本病感染の疑いのある株は本圃に定植しない。また、発病株は二次伝染源となるので、見つけしだい直ちに抜き取り施設外に持ち出し埋没処分するか、ビニール袋等に入れて完全に枯れるまで密封処理する。
（６）栽培終了時は、シルバーリーフコナジラミが施設外に飛び出さないように、ハウスを密閉して蒸し込みを行い、害虫が死滅してから片づける。
（７）県内では、トマト・ミニトマトで同じウイルスによるトマト黄化葉巻病が多発生しており、本病は媒介虫のシルバーリーフコナジラミの飛来・移動により発生が広がることから、地域や産地ぐるみで、トマト栽培農家と共同で、上記の対策を実施することが重要である。